

長野県木質バイオマス発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機関）は、征矢野建材株式会社（所在地：長野県松本市 代表取締役：櫻井秀彌）が計画する木質バイオマス発電事業に 5 億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

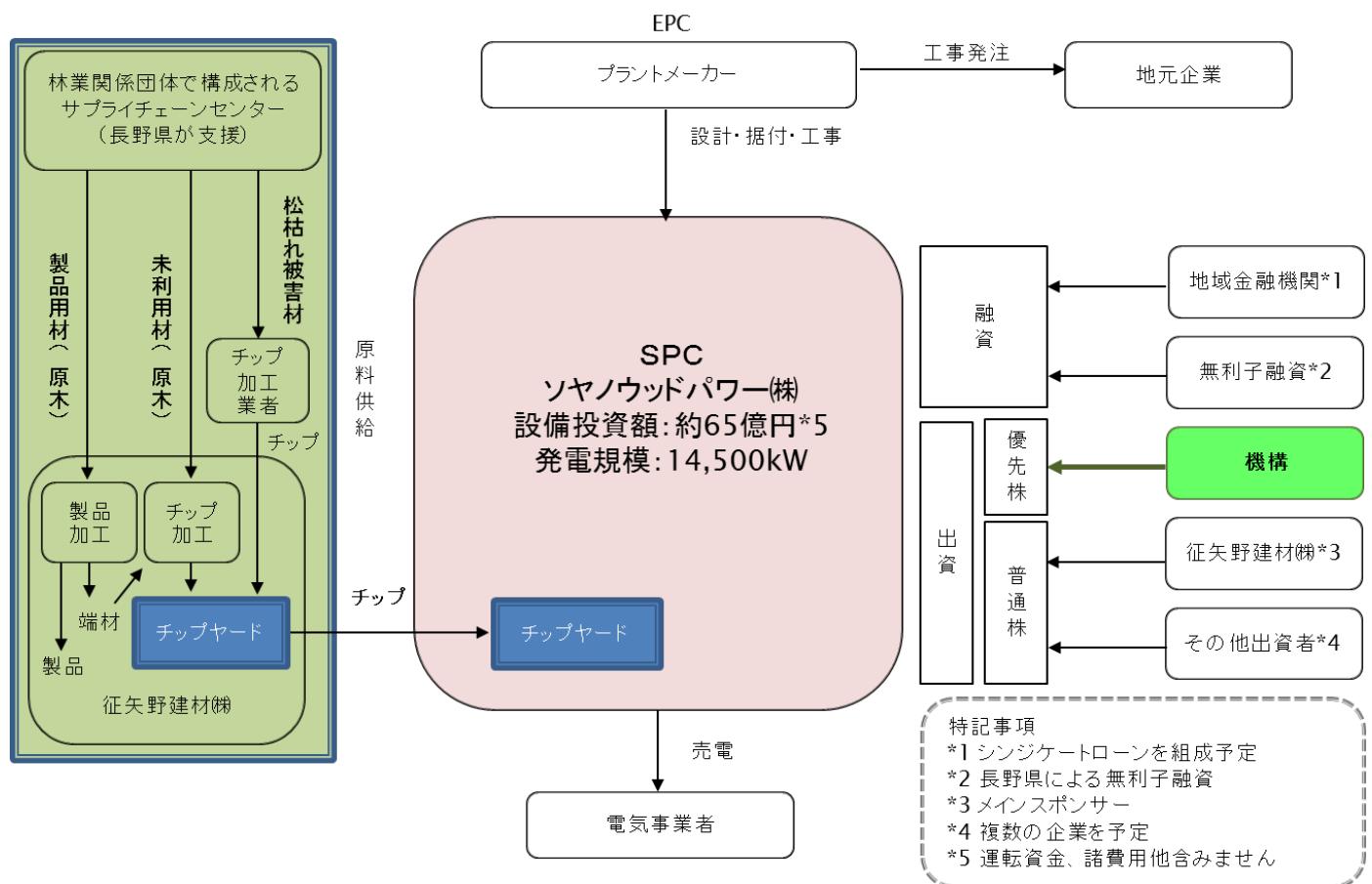
本事業は、長野県、塩尻市及び征矢野建材株式会社が産学官連携のもとで始めた『信州 F・POWER プロジェクト』で、大規模製材加工設備と木質バイオマス発電所を併設する地域産業推進事業です。

本件は、大規模木材加工施設（製材工場と木材加工施設）から排出される端材と、林業者が持ち込む未利用材をバイオマス燃料としており、安定的な燃料調達を実現し得る事業モデルです。

また、長野県では松枯れ被害が増えており、森林保護の観点から被害拡大防止の為、アカマツの伐採による松くい虫駆除が進められています。商品として流通できない被害材をバイオマス燃料として利活用します。

機関の出資が民間資金の呼び水となり、安定電源としての期待が高く、地域活性化効果も高い木質バイオマス発電事業の普及・促進に貢献できることに鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本事業のSPCであるソヤノウッドパワー株式会社に、機構が優先株にて500百万円を出資し、メンスponsaである征矢野建材株式会社及びその他のスポンサーが普通株にて出資を予定しています。また、長野県から無利子融資123百万円の採択を受けております。その他の必要資金は地域金融機関等から調達する予定です。
- ② SPCは上記資金を利用し、プラントメーカー、地元建設会社を中心に木質バイオマス発電所を建設します。また、発電電力は電気事業者へ売電します。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 大規模木材加工施設と木質バイオマス発電所を併設することにより、木材の安定的な需要を創出するだけでなく、林業の再生、雇用の創出、地域の活性化を図る総合的な森林バイオマス資源活用事業であること。
- ② 森林保護の観点から被害拡大防止の為、アカマツの伐採による松くい虫駆除を推進し、商品として流通できない松枯れ被害材をバイオマス燃料として利活用すること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業によるCO₂削減効果は、55,889t-CO₂/年を想定）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
